東日本

バーコードで生産管理

治具の納期に即答

全社で情報共有 外注コスト削減も

ーイヤ精機（東京都大田区、有石貴子社長、03・3758・335は、バーコードを利用した生産管理システムを導入した。毎月1万点生産する治具やゲージを図面ごとにバーコードで管理し、作業の進行やコストをリアルタイムで把握する。顧客に正確な納期を即答できる、社内でも工程ごとの作業負荷に応じた人員配置、部材や外注のコスト削減といったメリットがある。

ンクラブ精機は大手自動ーシー向けを中心にジョンで使う治具類ーサンキを生産。一品もが多く、設計図ウシジ数千枚に達するトウキョしたシステムはイト（岐阜市、大道等社長、058・273・1445）製の生産管理用パッケージソフト「テックスBK」を独自に改良。設計図ごとにバーコードを付けた作業指示書を発行し、工程を完了するたびにバーコードリーダーでチェックする。

システムはウィンドウズベースのサーバー1台を中心に生産現場、営業部門、経営幹部に計7台のパソコンを配置。バーコードリーダーは大田区内の本社工場と矢口工場の工程ごとに配備した。すべての製品が生産のどの段階にあるかについて全社で情報を共有。営業部門は顧客への納期回答に利用し、生産現場では負荷のかかっている工程に人員を回す。また、外注費を含めて製品ごとに原価管理を行いコスト削減につなげる。

一品ものの加工が多い中小企業では、生産管理も個人のノウハウで行われるケースが多い。同社でも納期の問い合わせに対して、「これまでは営業担当者が現場へ行って確認していた」（有石社長）という。生産ラインで使う治具の納期は顧客企業の生産スケジュールに大きく影響する。同社では新システムへの完全移行により顧客満足度を高め、自社のコスト競争力も強化する。

会員50社の技術公開

ネットで来月 広域連携を加速

【船橋】船橋商工会議所（船橋市、伊藤賢一郎、047・432・1111）は、経済産業省が推進する地域産業活性化事業の一環として、会員50社の技術を公開する。来月から同会議所のホームページに掲載する。

ネットは、企業情報を広く情報発信することで、船橋市、千葉県柏市、茨城県つくば市、埼玉県川口市などで形成する「東葛川口都圏の地域ネットワークの一つとして、茨城、千葉、埼玉の3県にまたがるエリアを構想。2010年度までに同ネットワーク整備を進める。05年度に企業訪問を実施しており、ホームページに各社の得意技術や研究分野などを盛り込む。

トヨタ生産方式

アジア向け発信 APOが衛星中継で講義

アジア生産性機構（APO）は6日、アジア各国に向けて衛星中継でトヨタ生産方式の講義を行った。優れた経営と生産の手法を普及させる活動の一環で、全3日間のプログラム。

世界銀行（IBRD）東京開発ラーニングセンター（東京都千代田区）で行った。松崎久純中部産業連盟コンサルタント（写真右）と河田信名城大学教授が英語で講義。その模様をIBRDが持つ衛星回線を利用してカンボジア、ラオス、モンゴル、ベトナムに配信。各国の生産性本部コンサルタントや企業の経営者など、合わせて約80人が受講した。

APOは5月と8月にも、ほかのアジア9カ国向けに同じテーマで講義を行う予定。今後、録画ビデオを。ラーニングの教材として活用していく。

京浜で新産業創造へ

9日、川崎でシンポ開催

【川崎】関東経済産業局と東京経済産業局は、「国内有数のモノづくり産業地域」を構成する東京都品川区、同大田区、横浜市、川崎市の自治体担当者で構成する京浜地域検討会議がまとめたヒアリング結果の概要を報告する。

第2部ではパネルディスカッションが織りなす新産業創造」をテーマに地域の集積を生かした技術開発、製品開発などを『新産業創造戦略』の展開に向けた可能性調査」結果の概要を報告する。

170人参加し100回目記念

横浜産振公社など 産学交流サロン

◎…100回目を記念する産学交流サロンが6日、横浜博報文化センター（横浜市中区）で開かれた。横浜産業振興公社と横浜市工業会連合会の共催で、約170人が参加。同連合会（横浜市神奈川区）の貝道和昭会長は「大学と企業の緊密な輪を広げ、産業を活性化していきたい」とあいさつした。

◎…中田宏横浜市長は、市内には世界的にも注目されている理工系大学が多数あることを強調。3年間で市が支援をした結果、創業に結びついた企業は20社以上になると紹介した。中小企業の技術と大学のシーズが合うように、「100回目を一つのきっかけとして続けていく」と話した。

◎…同サロンは00年にスタートし、延べ300人が出席。毎回、大学教授が講演をしており、この日は慶応義塾大学理工学部電子工学科の中人教授が「大学の研究成果を社会に活かす！」発表画像技術の実用化テーマに話した。（約

今年度優良工場に

水戸理化ガラス 水戸市

【水戸】水戸市は05年度の「水戸市優良工場」として、水戸理化ガラス（水戸市、平沼博社長、029・241・0621）を認定した。同社はガラス・石英の精密加工会社。従業員の福利厚生の充実や周囲の環境にマッチした工場の整備をしたことなどが評価された。

同制度は市内の工業活性化を図るために、労働環境の改善や工場周辺の整備などに努めている工場を認定するもの。97年度から実施している。

また、5年間の認定期間が過ぎた次の4社について再認定した。

▽川崎製麺所（同、川崎一男社長、029・269・3878）▽平沼畜産（同、平沼憲一社長、029・247・6411）▽ニコン水戸製作所（同、小野口雅邦所長、029・240・1111）▽アヴィニヨン（同、東英一社長、029・254・5033）

医療福祉機器

22日フォーラム 福島県

【福島】福島県は県産業振興センター催で、県が推進するつくしま次世代医療産業プロジェクトの成果発表会となる県医療福祉機器フォーラムを22日13時から福島市のホテルハ開く。主な研究成果はアイアールメディ工房による「次世ーテルの開発」、工学工学部などによる世代内視鏡モニタ

07年中に社員20人程操業する。

資源 in 街中
大型ゴミ等の処理は
おまかせ下さい!!